

1 単元名「6－2劇場を開こう」

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性等
①課題解決のために必要な情報を、自分なりの方法で調べている。 ②脚本、音楽、道具を制作することは簡単ではないことを体験的に理解し、友達と協力したり改善したりしながら制作している。	①総合のゴールに向けた道筋を自分なりに考え、伝えている。 ②課題解決のために集めた複数の情報を、比較したり関連付けたりしながら分析し、実際に取り組む内容を選択判断している。 ③伝える相手や目的に応じて自分の考えをまとめ、劇・音楽・ポスター・プレゼンテーション・動画等を通して表現している。	①伝える相手や目的を意識して、よりよい劇にするために粘り強く取り組もうとしている。 ②探究の過程を振り返り、総合の学びのよさを再認識し、今後に生かそうとしている。

3 教材のとらえ

本学級で決めた「テーマ成立の条件」は、①他の教科の学びを活かせること、②長い時間かけて探究できること、③一人一人のよさを活かしてクラス全体で協力し合って学べること、の3つである。その条件に合う活動として子どもたちが考えたのは「自分たちで音楽をつくりたい」「まだ使えるものを使って何かを作りたい」「クラスTシャツをつくりたい」「小田原市のPR動画を作りたい」「物語をつくりたい」の5つであった。どれも教科発展型の総合ではなく、自由発想から提案されたものである。仮のゴールを想定したり、考えられるメリット・デメリットを整理したりする中で、テーマは「自分たちで音楽をつくりたい」「まだ使えるものを使って何かを作りたい」「物語をつくりたい」の3つに絞られたが、なかなか決められないでいると、「この3つを合わせて劇をしたらよいのではないか」と意見が出され、みんなが賛同して一気にテーマが決定した。

「劇」という材には、メッセージ性や起承転結のある物語を作り出す言語的な思考力を磨くことができること、使用する道具や音楽を自ら生み出す創造性を育むことができること、自分たちが伝えたいことを表現する喜びなど、たくさんの魅力がある。また、劇には見せる対象としてお客さんが存在するため、相手意識や目的意識をもって取り組みやすいという良さもある。多くの活動を並行して行う必要があるため、教師自身がどこまで気配りができるか不安もあるが、子どもたちの主体性に委ね必要に応じてサポートしながら、よりよい劇の発表に向けて探究しながら学びを作り上げる喜びを味わいたい。



4 本時の指導

本時の目標 「各班が考えた物語の展開について意見を伝え合い、自分たちで決定することができる」

本時の学習（15／60）

学 習 活 動	教 師 の 支 援
1. 前時までの学びを振り返る - 劇のテーマは「本当の友情」「いじめをしてはいけない」に決まった！ - 起承転結を考えて物語の大枠をそれぞれ考えたよ。 - 班ごとに一つにしぼったから、今日はその中でどれがいいか決めていこう。	○話し合いの核（根拠）になるであろう言葉をおさえ、板書する。 （例）総合のゴール、テーマ、起承転結、お客さん、メッセージ性、準備、実現可能性、自分がやりたいもの ○「今日したいこと」を確認する。
物語の展開（起承転結）をみんなで決めたい！	
2. 各班が前時になぜその展開にしぼったのか代表者が伝える （例）気弱で優しい主人公が、友達からのいじめに悩みながらも、勇気を振り絞って自分の思いを本気で伝えたことで、みんなが過ちに気づき、「本当の友情」が生まれる話 学校に関係する話の方が、みんながイメージしやすいと思うし、メッセージが伝わりやすいと思ったからです。	○現時点で自分が「これがよい」と思ったものにマグネットを貼らせる。 ○物語の展開についていきなり話し合うのではなく、前時になぜその展開にしぼったのか代表者が全体に伝え、意図を理解し合えるようにする。
3. 9つの展開案を見て、ここからどうしていくか、自分たちで決定する - 現段階で「それがよい」と思う人がいない展開は削ってもいいんじゃない？ 3つにしぼって、そこでもう一度意見を聞いて、最終的に投票して決めよう。 - よいところをつなげて、展開を決めたらどうかな？	○「自分たちで決める」を徹底し、「自分たちで決めたことだから頑張る」という学習意欲の継続につなげる。
4. どの展開案がよいか、全体で話し合う。 - 私は、～がいい/～にはしない方がいいと思います。理由は（総合のゴール、テーマ、起承転結、お客さん、メッセージ性、準備、実現可能性、自分がやりたいもの）が～だからです。 - AとBを比べるとAの方が～だからAの方がよいです。 - Aの主人公設定はよくできているし、Bの出来事が面白いから、組み合わせようよ。	○「これがいいから」という表面的な話し合いではなく、テーマに目を向けたり、相手意識を持ったりできるように、必要に応じて教師が意識付けする
5. 話し合いをもとにして、展開案を一つの形にする	【思考・判断・表現】 各グループが出し合った複数の展開案を比較したり、関連付けたりしながら分析し、どの展開案がよいか判断している。
6. 学習の振り返りをする - 物語の大まかな展開が決まったからとても楽しみです。 - 次は主要人物のキャラ設定を真剣に考えたいです。	○次の探究活動への思いを書かせ、意欲を引き出す。